淑 徳 大 学 広 報 誌

Together

SHUKUTOKU
https://www.shukutoku.ac.jp
No. 231 | 2020. 4.1 Spring

Cover Person
岩瀬 翔紀さん
（歴史学科3年）

淑徳大学の特色ある学び
「利他共生」を
知る・学ぶ・考える

学長メッセージ
新入生の皆さんへ

淑徳人
千葉市立平山小学校 勤務
藤本 桃子（小那覇 桃子）さん

ともいきのこころ
長谷川良信先生の足跡・4
～写真から広がる長谷川良信先生の世界～

Campus News

新入生の皆さんへ

学長　磯岡　哲也（いそおか　てつや）

2017年学長就任。研究分野は「宗教社会学（宗教を基盤とした人間集団の社会学的分析）」。日本宗教学会、日本社会学会、日本民俗学会、日本家族社会学会、「宗教と社会」学会等に所属。建学の精神、教育理念を踏まえた教育方法の開発に携わり、宗教教育のあり方に関する研究にも力を入れています。

ご入学おめでとうございます。入学に際して学長として皆さんに二つのことをお伝えします。一つは、建学の精神について、もう一つは師友や人々との出会いについてです。

淑徳大学は昭和四十年に学祖長谷川良信先生により、社会福祉学部社会福祉学科の単科大学として開学しました。学祖は宗教大学（現大正大学）を卒業後、母校の社会事業研究室に勤め、大正七年二十八歳の時、東京巣鴨の二百軒長屋と呼ばれた非常に貧しい人々が住む地域の生活向上を志しました。その志は次のように表現されています。「立って貧民を救え！貧児を救え！貧民窟に入って一生を奉仕の生活に捧ぐべきだ！」（「出発点のころ」昭和三十四年）学祖はじっさい、そこに移り住んで、生活を共にしながら子ども達の勉強会や住民の生活相談などの仕事をされました。

これが、「他者に生かされ、他者を活かし、ともに生きる」という本学の建学の精神である「利他共生」の理念なのです。このように本学では、社会の諸分野で他者とともに生きることを志す人材を育成する目的のもとに、もろもろの教育活動が行われています。

次に、建学の精神とも関わりますが、先生や友人、多くの方々との交わりや絆を大切にしていただきたいと思います。大学時代に培った友情は、利害関係がなく全人格的で、かけがえのない宝物となります。将来の夢を純粋な気持ちで語り合うことができるのは、学生の特権といえるでしょう。また本学では親しみやすい教職員が多く、学生諸君から「学生と教職員との距離が近い」という評価を得ております。さらに、地域社会でのサービスラーニングや実習等を通じて多くの大切な出会いがあることでしょう。その出会いを契機に、自分とは異なる方々との交わりを広げ、ともに学ぶ学生生活を送っていただきたいと思います。

本学での学生生活が、多くのかかわりをとおして、限りなく充実したものとなりますことを心より祈念いたします。

◉各学部長

コミュニティ政策学部長
鏡　諭（かがみ　さとし）

総合福祉学部長
大橋　靖史（おおはし　やすし）

経営学部長
千葉　千枝子（ちば　ちえこ）

看護栄養学部長
茂野　香おる（しげの　かおる）

人文学部長
星野　英樹（ほしの　ひでき）

教育学部長
加藤　尚裕（かとう　たかひろ）

長谷川良信先生の足跡（そくせき）・4

～写真から広がる長谷川良信先生の世界～

長谷川 良信（1890年〈明治23〉～1966年〈昭和41〉）

学祖・長谷川良信先生は、茨城県笠間市で生まれ、6歳で浄土宗得生寺の養子となって仏道に入ります。宗教大学（現、大正大学）在学中に恩師・渡辺海旭（かいぎょく）と出会い、社会事業の活動を始めます。1919年（大正8）、東京西巣鴨のスラムにセツルメント「マハヤナ学園」を創設し、その後は女子教育にも活動を拡大していきます。戦後はブラジル開教にも力を注ぎます。75歳の時に社会福祉系単科大学「淑徳大学」を千葉市内の大厳寺境内地に創設しました（1965年）。その生涯は、まさに「宗教・教育・社会福祉の三位一体」の実践でした。

良信先生後方右に佐々木陽明氏（のち日伯寺住職）、左側に吉田旦善開教使。淑徳大学所蔵

写真スポット

ブラジル サンパウロ市 子供の園

長谷川良信先生は、ブラジル開教のために3回にわたり渡航しています。上の写真はブラジルの「子供の園」（現在の「こどものその」）で開かれた大運動会の時に撮影された1枚です。

大運動会は、良信先生の第三次ブラジル渡航にあわせ1962年（昭和37年）8月12日（日）に開催されています。えんび服姿の良信先生が中央におられ、整列している子どもたちは、はだしで半袖です。服もまだきれいですので、開会の時に合唱している場面でしょうか。

千葉キャンパス1号館には、長谷川良信先生の展示コーナーがあります。
千葉第二・埼玉・東京キャンパスにも良信先生の展示室やコーナーがありますので、
訪れてみましょう。

1 子供の園

良信先生は、ブラジルに創建した浄土宗日伯寺学園内に知的障がい児の治療教育部を1957年に開設しました。その後、サンパウロ市イタケーラ区に移転し「子供の園」として誕生しています。大運動会は、同園の起工式にあわせて行われました。

2 大運動会

先生は日伯寺から前日夜9時に「子供の園」に到着。その後、全職員らと12時まで準備を進めましたが、深夜になっても雨は止まず、翌日の天気をひどく気にされました。明朝、曇天でしたが雨がやみ、運動場は砂地であったので運動会ができることになり、子供たちもはしゃいでいました。

起工式を10時から1時間足らずで終え、すぐに運動会開始。地元の父兄会や男女青年会もかかわり、すべてのプログラムが終わったのは、午後4時30分。園児の参加は35名でしたが、じつは参加できない8名の重症児がいました。

3 第三次ブラジル渡航

大運動会の翌日13日、良信先生は会議に向かうため、サンパウロを離れました。じつは、第三次ブラジル渡航では、先生は「国際社会事業会議」と「国際社会事業教育者会議」の2つの国際会議にも日本代表として出席したのです。

一方で、体の不調をかかえ、滞在中に食事に困るようなこともありました。体調不良のなかでの4年ぶりのブラジル行きは、会う約束をしていた子供たち、支援者へのお礼の気持ちなど使命感に燃えるものでもありました。

4 活動に対する評価

良信先生が行ったブラジルでの開教は、宗教・教育・社会福祉の三位一体の思想と実践に裏付けられていたものです。「こどものその」は、ブラジル国の公認の社会事業団体となり、また淑徳大学の自校教育のプログラムとして、1986年から30年以上続く、ブラジル派遣研修先のひとつとなっています。

参考文献　長谷川良信『第三次ブラジル遊記』大乗淑徳学園 1962年12月
長谷川匡俊『社会派仏教者・長谷川良信の挑戦』マハヤナ学園　2010年10月

長谷川耕心先生遺墨展

大乗淑徳学園名誉理事長・長谷川良昭先生の一周忌を迎えるにあたり、「長谷川耕心先生遺墨展」が2020年2月19日より26日まで、東京キャンパス4号館3階のフリースペースで開催されました。

書道の世界では元・貞香会理事長　長谷川耕心先生の名で知られており、東方展をはじめとする全国規模の大型展覧会で活躍されておりました。雅号の「耕心」は師・中村素堂先生より頂戴したものとの事です。

遺墨展の作品は生前、長谷川耕心先生自ら選定した軸装作品と展覧会出品作品を展示いたしました。師の書風を学びつつも古典を深く追求した作品の数々は、訪れた多くの方々に感銘を与えていたようです。

淑徳大学アーカイブズ 2020年度特別展のご案内

予 告

テーマ　「パラスポーツの活力 ―その歴史と未来へ向けて―」
会　期　2020年**5月18**日～**7月22**日、**9月14**日～**11月30**日
会　場　淑徳大学千葉キャンパス淑水記念館 3階
　　　　淑徳大学アーカイブズ特別展示室
入場料　無料

千葉キャンパス　淑水記念館（1号館）
3階 淑徳大学アーカイブズ
最新の情報はホームページをご覧ください。▶▶▶

淑徳大学の特色ある学び

「利他共生」を 知る 学ぶ 考える

**学祖・長谷川良信先生は「利他共生」の理念を生涯をかけて実践されました。
皆さんはそのバトンを受け継いでいます。
淑徳大学ならではの貴重な機会を活かし、
さまざまな活動を通して人々とともに成長する学生の姿を紹介します。**

※2019年度の実施時期、参加費用、担当部署を掲載しています。
新型コロナウイルスの感染拡大のリスクを回避するため、一部プログラムは中止となりました。

東日本大震災復興支援プログラム

学習支援ボランティア

【実施時期】7月下旬～8月上旬
【参加費用】15,000円
【担当部署】淑徳大学地域支援ボランティアセンター

この学習支援ボランティアは、東日本大震災以降、淑徳大学と交流が続いている宮城県石巻市立雄勝中学校の生徒たちの夏休みの学習を支援することを目的として実施しています。被災の現実と復興の現状を人々にふれて、本学の建学の精神である「利他共生」の意味と「私たちに何ができるか」を体験的に学びます。

参加学生より

人文学部
表現学科 3年
澤本 有咲さん

学習支援ボランティア活動ではコミュニケーションの重要性を学びました。被災後、石巻を離れていく同級生も多かったと雄勝中学校の校長先生に伺いました。外部との接触がほとんど無く、ストレスを抱えている子どもが多いことも懸念されていました。しかし、実際子どもたちと話してみると初対面にも関わらず、夢や目標について熱く語ってくれるほど仲良くなりました。東日本大震災で私たちには計り知れない思いがあったでしょう。しかし、目標に向け日々勉強する姿に心を打たれました。

東日本大震災復興支援プログラム

スタディツアー

【実施時期】2月中旬
【参加費用】15,000円
【担当部署】淑徳大学地域支援ボランティアセンター

このツアーは、3.11を風化させることのないよう現地に赴き、被災された方々のお話を直接伺って交流することにより、「いまできることは何か」を考え支援につなげていくことを目的としています。福島県相馬市・浪江町地域にて、震災・津波被害ならびに原発事故被害からの復興支援について考えます。

参加学生より

総合福祉学部
社会福祉学科 4年
國井 遥華さん

私は、復興に向けて自分に何ができるのかを考えるために参加しました。ツアーでは、復興に向け立ち上がったさまざまな立場の方々から話を聴き、地震・津波の恐ろしさ、衣食住の確保の大変さを強く感じました。また、追体験をしたような衝撃も受けました。ツアーを終えて、私はこの気持ちを胸に刻み、伝えていきたいと思います。そして、震災の準備もしっかり行っていこうと思いました。

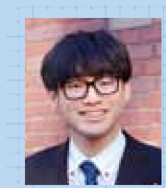
東日本大震災復興支援プログラム

パネルシアターキャラバン

【実施時期】8月頃
【参加費用】15,000円
【担当部署】淑徳大学地域支援ボランティアセンター

淑徳発祥の「パネルシアター」を担いで、被災地の保育所や高齢者施設の巡回を毎年行っています。パネルシアターを通して多くの笑顔が花開くように広がることを願いながら続けています。2019年10月に発生した令和元年東日本台風で甚大な被害を被った宮城県丸森町にも足を延ばします。

参加学生より



教育学部
こども教育学科 3年
原 秀仁さん

大好きなパネルシアターを通して、東北の被災地で公演活動を行いながら、実際に被災地を見て学びたいと思い、参加しました。「子どもたちや地域の方々を笑顔にしたい！」という思いで練習に励み、公演活動の中で多くの方を笑顔にすることができました。
他にも、山元町防災拠点や石巻市交流センターを見学したり、大川小学校の現状から津波の怖さを目で確かめることができ、実際に訪れることで多くのことを学ぶことができました。教師になる身として、得た経験を子どもたちへ伝えていきたいと思います。

TGC（東京ガールズコレクション）

【実施時期】9月上旬・2月下旬
【参加費用】特になし（交通費・雑費）
【担当部署】千葉キャンパス サービスラーニングセンター

毎年インターンスタッフとして物販やフィッター、取材サポート、撮影サポートなど延べ30名以上の学生が本学から参加します。開催前には、東京ガールズコレクションの取り組みやトレンドキーワードの発信などをテーマに盛りこんだインターン事前学習会が渋谷で開かれます。

参加学生より

総合福祉学部
実践心理学科 4年
加藤 佳彩さん

高校3年生のオープンキャンパスがきっかけでTGCの活動に興味を持ちました。今までバレーボール部の活動を中心としていたため、新しいことに挑戦したいと思い参加しました。当日の仕事内容はスタッフの方々や多くのモデルの方と直接関わるため、言葉遣いや失礼のない行動を心がけました。この経験は、社会人としてのコミュニケーション力や自分の行動に責任を持つ大切さを学ぶことができ、代表を務めていた部活動でも大いに役立ちました。TGCの活動で学んだことをこれからの就職活動などに活かしていきたいです。

※詳細は国際交流センター（千葉キャンパス）まで
お気軽にお問い合わせください。

最新情報は
大学HPをご
覧ください。

参加学生より

コミュニティ政策学部
コミュニティ政策学科 3年
梅田 舞佳さん

海外が好きであり、また、長谷川良信先生が行ったことを知る貴重な機会であったため参加しました。ブラジルでは、言葉や文化、考え方の違いもあり、苦労もありましたが、違いは悪いことだけではなく、そこから学べることも多くあることを知りました。研修後は、違いを個性として受け入れ、たくさんの人と関わるようになりました。研修中は、他キャンパスや他学年との交流もあり、現在もご飯に行くような良い関係になれました。

ブラジル研修（春期）

【実施時期】3月上旬から下旬にかけて2～3週間
【参加費用】大学負担

本学では1986年から南米ブラジルに研修生の派遣を実施しており、これまで33回にわたり学生を派遣してきました。学祖・長谷川良信先生の社会福祉実践家としてのブラジルでの事跡を学ぶことによって建学の精神に触れ、改めて淑徳大学で学ぶ意味や、自身の将来像や生き方を見つめ直すことを目的としています。

また、日系社会との交流、ブラジル社会の多様な文化・環境・価値観に触れることで、国際的視野を広めることもねらいとしています。研修期間は約3週間で現地の協力のもとに行われます。学祖の建立したサンパウロ日伯寺での研修を始め、和順会老人ホームや「こどものその」（知的障がい者福祉施設）を訪問し、見学や実習を行います。また、コーヒー農園での体験実習、ブラジルの一般家庭に3泊のホームステイも含まれています。研修後半ではフィールドトリップとして世界自然遺産であるイグアスの滝を見学するなど、淑徳大学ならではの非常にユニークな研修です。

カナダ・トンプソンリバーズ大学英語研修

【実施時期】8月上旬から3週間
【参加費用】約45万円

英語学習に加え、異文化コミュニケーションを学び、大自然を満喫できるアクティビティも組み込まれた、3週間の短期英語研修プログラムです。英語学習は、「聴く」「話す」を中心とした英語コミュニケーション能力の向上を目的としており、世界各国からの留学生と一緒に学びます。生の英語、カナダの文化に触れてみたい、大自然を満喫したい、ホームステイを体験したい方におすすめのプログラムです。

参加学生より

経営学部
観光経営学科 3年
穂積 萌さん

事前の説明会で他キャンパスの仲間と顔合わせをし、安心して出発日を迎えることができました。現地では言葉の壁がありましたが、相手の目や動作を見て積極的にコミュニケーションをとることができました。各国から来た同世代の人と英語を学ぶのは刺激的でしたし、なにより現地で多くの友だちを作れたことが嬉しかったです。研修には語学だけではなく、ホースバックライディングなどのアクティビティが含まれており、カナダの大自然を満喫することができました。

information

内閣府地方創生事業
「対流ともいきキャンパス事業」がスタート

2019年度から、京都文教大学、埼玉工業大学と本学の3大学で、内閣府の地方創生事業「地方と東京圏の大学生対流促進事業」に取り組んでいます。本取り組みは、お互いの学生が、京都や首都圏を行き来しながら、地域の課題解決に取り組む新たな教育プロジェクトです。2019年12月14日には、京都文教大学での「ともいきフェスタ」に、2020年2月17日（月）から21日（金）まで京都の南部地域における短期プログラムに、コミュニティ政策学部と経営学部の学生計5名が参加しました。
［担当部署］淑徳大学地域連携センター

左から京都文教大学 平岡聡学長、
埼玉工業大学 内山俊一学長、本学 磯岡哲也学長

フィリピン・セブ島英語研修

【実施時期】2月上旬から3週間
【参加費用】約28万円

充実した英語コミュニケーションをとることで、より英語を好きになって次のステップへ繋げるのが「セブ島語学研修」です。

マンツーマン＋グループレッスンで、自分のレベルに合わせて英語漬けの毎日を送れます。

現地では、通常の観光では見ることのできないシティーツアーや、子ども達との交流のスタディーツアーも組み込まれています。

参加学生より

看護栄養学部
看護学科 2年
山田 真実さん

私はセブ島留学を経験してフィリピンと日本との環境の違い、貧富の差が激しいことを知りました。しかし、フィリピンの方々、子どもたちは、いつも笑顔で貧困という現状を忘れるくらい1日1日を楽しく過ごしているように感じられました。援助を受けながら、教育を受けている子どもたちもまた、夢に向かって一生懸命勉強に励んでいるように感じました。

セブ島留学では、英語能力を上げることはもちろん、自分がやりたい教育を受けられることのありがたさ、1日1日を楽しむことの大切さなど、沢山のことを学ぶことができました。フィリピンで出会った方々の笑顔と優しさは、いつまでも大切に心にとどめておきたいと思います。

参加学生より

人文学部
表現学科 4年
志賀 泰輝さん

僕は淑徳初のカンザス研修に参加できたことを本当に幸運に思っています。

この研修は、カンザスの大学に現地のルームメートと寮で過ごしながら、英語を学びつつ地域の幼稚園訪問や観光、ショッピングなどさまざまな体験をしました。

また、週末にはホームステイをし、ピザを食べながらのムービーナイトなどアメリカならではの貴重な体験をすることができました。

この研修で僕が何よりも感じたことはカンザスの人々が温かく親切だと言うことです。おかげでとても過ごしやすく、ずっとカンザスにいたいと思いました。カンザスの研修は大学生活で最も楽しいものとなりました。またカンザスの人々に会いに行きたいです。

アメリカ中西部・カンザス英語研修

【実施時期】2月中旬から2週間
【参加費用】約35万円

本学協定校であるカンザス州のセントラルクリスチャンカレッジにて行われる2週間の短期英語研修プログラムです。英語学習に加え、大学近隣の幼稚園や小学校を訪問し子供たちとの交流を通してアメリカの教育施設の現場を体感します。

アメリカ中西部のカンザスの大自然を満喫できるアクティビティや近隣のシティツアーも組み込まれています。滞在はアメリカ人ルームメートと学生寮、週末はホームステイとアメリカの大学生活や異文化を肌で体感できる2週間で盛りだくさんの研修内容です。

information

SAITAMA Campus

短期海外研修（シンガポール・オーストラリア）

カリキュラム内で学生の将来の目標に合わせた経験学習の場として用意しています。

経営学部では、他国の社会や文化、宗教などを体験・学習することで、ビジネスのグローバル化に対応できるマナーや対人能力といった社会常識を身につけること、また、他国の企業・組織との交流を通して、国を越えて求められる経営人材に必要な知識・スキル等を認識することを目的としています。

教育学部では、英語指導に秀でた学生の育成をめざし、その一環として海外で現地の小学生に日本語を教えたり、教材準備の手伝いやオリジナル授業を行ったりするなど、「アシスタント・ティーチャー」として活動します。
［担当部署］埼玉キャンパス 学事部

淑徳人 No.231

2015年 総合福祉学部教育福祉学科卒業（1期生）。在学中に特別支援学校教諭と小学校教諭免許を取得。卒業後は特別支援学級の担任として一年生から六年生の子どもたちと向き合う。結婚、妊娠を経て、この春から産休に。

FUJIMOTO Momoko

藤本 桃子（小那覇 桃子）さん

千葉市立平山小学校　勤務
特別支援学級担任

子どもの頃から学校の先生になりたかった藤本さん。高校の時に志望を小学校に絞り、当時一期生を募集していた淑徳大学の教育福祉学科に入学します。その頃は通常のクラスを受け持つイメージでしたが、大学時代の経験や資格に導かれ、一年目から特別支援学級の担任に。すると天職とも言える充実した日々が待っていました。

特別支援学級の担任として、障がいをもつ子どもや保護者に寄り添いたい

悩みや辛い経験を一緒に乗り越えていくのが仕事の魅力

特別支援学級は一般の小学校に設置され、障がいなどの事情を抱える子どもたちの学級です。「準備は大変ですが、さまざまな行事の中でこれは難しいかなということにも挑戦しています。それを乗り越えた子どもたちが達成感で喜んでいるのを見ると、とても嬉しくなります」。

もちろん特別支援学級である以上、通常の学級とは違って大変なことも。「一人ひとりの発達段階が違うので、個々の目標や学習方法を考え、連絡ノートで保護者の方と毎日やりとりをしています。更に全員で一つのことに取り組むグループ学習や日常生活の指導など、やることはたくさんですね」。

一期生として入学した教育福祉学科、特別支援学級を受け持つイメージはなかった

「高校の時に担任の先生から小学校教諭を勧められ、子どもが好きだったので、淑徳大学の教育福祉学科に進みました。その頃はあくまで小学校の先生が目標で、福祉の知識は何かの時に活かせたらいいかなと思いました」。

そこに変化が生まれたのは学生時代。障がいに関する講義や心理学、発達の傾向などを学ぶのが楽しくなり、特別支援学校教諭の免許も取得することに。

採用試験で先生方のサポートが強力な後押しに

「三年の後期頃から学内の採用試験対策講座に通いました。ゼミは試験を突破するための実践的な学びが多く、筆記や模擬面接などの指導もいただきました」。

大学時代の学びの中で、小学校の先生という当初の目標に福祉という新しい価値が加わり、やがてそれを活かせる仕事に就くことになりました。「興味のあることを楽しく頑張れると、後になって役に立つと思います。できれば早いうちに進路を決めて、仲間と励まし合い、悩んだ時は先生方に指導を受けてください」。

学校での取材中にもたくさんの先生から声をかけられ、人望の厚い藤本さん

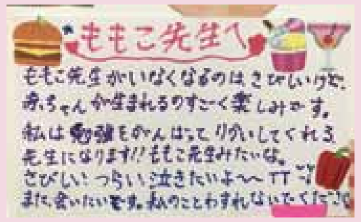
念願の小学校の先生の道に進むと、校長先生から「特別支援学級の担任はどうか？」と勧められます。「確かに特別支援学校教諭の免許を持っていますし、資格を活かせるならばと引き受けました。資格がなくても特別支援学級の担任にはなれますが、やはり持っていると保護者の方からも安心だと言ってもらえます」。

この春から産休で職場を離れますが、復職にも強い情熱を持っています。「この仕事は本当にやり甲斐があって楽しいので、妊娠や出産という経験を活かして、自分の子どもを思う保護者の気持ちに寄り添える先生として戻ってきたいと思います」。

Photo × Photo

【学生時代の仲間たち】
友だちのおかげで、毎日楽しい学生生活をおくることができました。嬉しいときも、辛いときも一緒に乗り越えてきた仲間たちとは、今でも仲良しです。

【大学の同級生との結婚】
主人とは、大学の講義で出会いました。同じ夢をもち、支えあってここまできました。お互い教員として奮闘中の毎日です。



【教え子からの手紙】
産休に入る前に、教え子からもらった手紙です。自分の姿を見て、教員を目指したいと言われたのは初めてだったので、嬉しく思いました。

紹介したい淑徳大学の主な特色ある学び

SPORTS

第11回 千葉ロッテマリーンズ・淑徳大学スペシャルナイター

千葉ロッテマリーンズの本学冠協賛試合、「淑徳大学スペシャルナイター」が2019年8月7日(水)に開催されました。本年度で11回目を迎えた当プログラムは、「プロスポーツとの提携を通じたサービスラーニング活動の質的向上」および「来場者への本学教育活動の理解」を目的として活動を行いました。コミュニティ政策学部学生47名に加え、看護栄養学部学生17名、車いすバスケットボール学生実行委員13名と連携して合計77名の学生がスタジアムの内外でさまざまな取り組みを行いました。

B.LEAGUE「千葉ジェッツふなばし」淑徳大学冠試合

淑徳大学がオフィシャルスポンサーを務める「千葉ジェッツふなばし」の淑徳大学冠試合を千葉ポートアリーナで開催しました。約6,000人の観客の前で、学生によるオープニングセレモニーや手話サークルによる手話ソングが行われ、会場は大いに盛り上がりました。またバルーンアートの作成・配布、表現学科学生が制作した千葉ジェッツ応援動画の放映や、車いすバスケットボール体験会など行われ、学部を越えて千葉ジェッツを応援する取り組みを行いました。▶P.14のキャンパスニュースもご覧ください。

長谷川良信記念・千葉市長杯争奪車いすバスケットボール全国選抜大会

大学祭で行われた車いすバスケットボールのデモンストレーションに魅了され、学生たちが実行委員会を立ち上げたのが2010年、その後東日本大震災による開催延期を経て2012年に念願の第1回大会が開かれたことから本大会の歴史は始まります。開催資金の獲得や当日までのスケジュール管理など、例年運営のすべてを学生が担うこの大会は、さまざまな課題に立ち向かいながら、車いすバスケットボールの魅力を学生独自の視点から発信し続けています。

TOKYO Campus

歴史学科の板橋学―授業「日本地域史」―

歴史学科には、キャンパスがある板橋区の歴史を学ぶ日本地域史という授業があります。板橋には、中世の城や近世の中山道板橋宿の名残が残っており、その跡を歩いてたどります。その上で、昨年度は板橋宿の旅籠屋に伝わっていた史料を一眼レフカメラで撮影し、昔の人が筆で書いたくずし字を読み解きました。まだ誰も読んだことがない史料から、新しい歴史を明らかにする歴史学研究の楽しさを体験できる、貴重な機会となっています。

CHIBA Campus

おゆみ野caféこどものまちCBT

「こどものまち」とは、子どもたちが自ら運営する「まち」で働き、遊びながら社会の仕組みを学ぶプログラムです。コミュニティ政策学科では、2つのゼミが中心となり「おゆみ野caféこどものまちCBT」の運営に参加しています。この「こどものまち」が会場となる鎌取コミュニティセンターに作られるのは11月末の1日のみですが、その半年前から地域の小学生と一緒に準備を進めていきます。「まちづくりの主体＝子ども」という考えを尊重したイベントに関わりながら、学生は「まちづくり」を体験的に学んでいます。

CHIBA 2nd Campus

国家試験対策講座

看護栄養学部では、看護師および管理栄養士国家試験合格率100%を目指し、4年次での国家試験対策講座に力を入れています。教員や専門外部講師による国家試験対策講座の他、e-ラーニングを利用した課題提出や練習問題解答、アドバイザー制度を用いた個別指導、さらには成績下位者のための「頑張ろうクラス」編成など、学生の習熟度に合わせ学修を支援し、苦手分野の強化や効率的な勉強法のアドバイスを行っています。

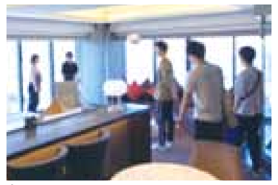
CHIBA 2nd Campus

ボランティア講座

看護栄養学部のボランティア講座では、ガイダンス・講義に始まり、学生ボランティアの実践、ゼミやレポートの作成、修了式を行っています。学生はボランティア活動を「自ら学ぶ実学教育」の一環として行い、主体的な行動や公共心について、そして、建学の精神である共生について思考するなど多くの学びを得ています。「健康フェスタ」や「オレンジカフェ（認知症カフェ）」、「子ども食堂」など、さまざまな地域貢献事業に参加しています。

CHIBA Campus

「TDRの旅」をテーマとした企画作りプログラム



コミュニティ政策学部のプログラムでは、外部講師の三橋徹さん（東京ベイ東急ホテルマーケティング支配人）のご協力のもと、企画立案に必要な経営学的な概念を学び、ホテル研修を経て企画を作るプログラムです。

2019年度はターゲット明確化のため、グーグルフォームによるアンケートを実施しました。ロッテの淑徳大学スペシャルナイターにビラを配布し、データ収集に努めました。このデータを集計し、ホテルの特徴を把握し、具体的な企画提案へ結び付けました。

最終発表会では相互評価を行い、自身の強み・弱みを振り返る機会とし、継続的な学びへ繋げてきています。

SAITAMA Campus

LA科目

経営学部では、社会で求められるリーダーシップ能力について学び、実践する中で修得することを目的とした授業「Learning Assistant Program」を実施しています。

この授業は、先輩学生が、ラーニングアシスタント（LA）として授業に入り、教員とともに、授業内容の検討から、授業資料作成、司会進行、受講生への助言・指導を行っています。

企業の皆様(2019年度 株式会社エイチ・アイ・エス）にもご指導いただき、店舗への見学や、企業目線のフィードバック等、より実践的な学びを深めています。

2019年度前期は、経営学部の1年生のうち9割を超える約200名が受講しました。▶P.13のキャンパスニュースもご覧ください。

千葉第二 CAMPUS

栄養学科 キャリア・国家試験懇談会の開催

真剣な表情でメモを取る在校生

各卒業生のブースでは、講演会では質問できなかった情報収集を行っていました

2月15日（土）に、栄養学科１～3年生を対象とした「キャリア・国家試験懇談会」を開催しました。学生の就職支援および国家試験対策ガイダンスの一環として毎年行われ、今年は若手管理栄養士の精鋭として現場で活躍している本学科卒業生（1期生3名・3期生3名）を講師としてお招きしました。職場や業務は、病院・薬局・食品会社・保育園・スポーツ栄養管理と多彩で、管理栄養士のニーズが多方面から求められていることを在学生も実感していました。質疑応答や各講師の相談ブースコーナーでは、特に3年生から就職活動や国家試験対策の質問が相次ぎました。この懇談会をきっかけに、全ての学生が自身のキャリアをつかみ取っていくきっかけになることを願っています。

看護師・保健師国家試験に向けて「奏功会」と試験後の「採点会」を開催しました。

「絶対合格するから、大丈夫。頑張って！！」と教員一人ひとりが優しく声をかけながら受験票と合格祈念品を手渡しました

緊張もピークを迎えていましたが、「国家試験全員合格！！頑張るぞ！！」と最高の笑顔を見せてくれました。インフルエンザやCOVID-19の感染防止のため、マスク着用での開催となりました。

2月3日（月）、千葉第二キャンパスでは、看護師・保健師国家試験を受験する4年次生に向けて、「奏功会」を開催しました。（本学部では、目標どおりの成果をあげることに期待し「壮行」ではなく、あえて「奏功」を使用しています。）奏功会では、学生一人ひとりに受験票と合格祈念品が手渡されました。茂野学部長と岩崎学科長からそれぞれ「激励の言葉」をいただきました。その後、佐佐木キャリア支援委員長から、国家試験受験に向けての心得と諸注意をいただきました。最後に、在校生から手作りの“教職員からの応援メッセージ”が詰まったスライドショーも流され、心温まる奏功会となりました。

そして、看護師国家試験の翌日、採点会を開催しました。そこには、学生の充実した笑顔がありました。看護師・保健師国家試験の合格発表は、2020年3月19日（木）14時です。看護栄養学部 教職員一同、「看護師・保健師国家試験」全員合格を祈っています。

高大連携・「生茶に合うお弁当開発」サービスラーニング連携プログラム

8班による調理実習

試食会、事業化プロセスについて説明

昨年7月にコミュニティ研究Ⅱ（1年生必修科目）「キリンビバレッジコース」の取り組みの一環で、キリンビバレッジ株式会社東京支社、千葉支社の協力を得て、「生茶」に合うお惣菜を地元のスーパーせんどうに提案しました。その中から本学学生の「麻婆唐揚丼」と生浜高校生の「千葉県産海苔コロッケ」が2020年2月から順次販売されることとなりました。

これに際して、12月には株式会社せんどうのプロセスセンターにおいて、試食会が開催されました。学生や高校生からは「自分たちの提案が受け入れられて感動した」「生茶とセット販売でつい買ってしまいそう」などの声も。2020年9月までせんどう全店で販売される予定です。3月3日（火）の「生茶」リニューアルと合わせてご賞味ください。

千葉 CAMPUS

国家試験合格祈願の護摩焚き 大巌寺にて

今年度も国家試験合格を祈願した恒例の護摩焚きがなされました。大学に隣接する大巌寺の不動堂にて、学園の理事長であり大巌寺の住職でもある長谷川匡俊先生より社会福祉士、精神保健福祉士の合格を祈願してのご祈祷をしていただきました。大巌寺の不動堂は成田不動尊の分身を奉っており「開運増慧」の不動尊として知られております。社会福祉学科では5～6年前から護摩焚きを始めたところ、常に5割以上の合格率を上げています。最後は各人の頑張り次第ですが、学生同士の合格を信じる心が一体となり、心願成就へと繋がる貴重な時間へとなっているように思います。

実践心理学科 卒業研究ポスター発表会が行われました

審査委員に向けてプレゼンテーションを行います

質疑応答の様子

実践心理学科では、3年次のゼミから各個人が卒業研究に取り組んでいます。3年次には主に、心理学的研究手法の学び、問題設定に必要な文献の収集と整理が行われます。それを受けて4年生になれば、研究テーマおよびデザインの決定が行われ、データの収集、分析、卒業論文・レポートの執筆、といったスケジュールで各個人が取り組んでいきます。

4年生の最後に、実践心理学科の全員がA0サイズのポスターを作成し、1月23日（木）の発表会に臨みました。4年生に加えて、全教員、在学生も参加し、各ポスターの前で活発な議論が行われていました。

歴史学科　土井進教授の最終講義

東京 CAMPUS

1月14日（火）、2019年度で定年退職となった歴史学科の土井進教授の最終講義が開催されました。土井教授の専門は教育学。人文学部が設置された2014年4月に信州大学から本学に着任され、歴史学科の教職課程の礎を築かれました。

最終講義当日は、1年次生から4年次生までの在学生のみならず、歴史学科を卒業後に教職に就いている方々を含めて、多数の卒業生も参加しました。

土井教授は、東京教育大学で教育学を修める契機となった恩師との出会いから、今日に至るまでの研究・教育経歴を踏まえたうえで、これからの教育を担うことになる学生や卒業生に対し、熱心に講義を展開されていました。

大乗淑徳学園の精神と教育学を結びつける講義内容となりました

千葉ジェッツをバーチャルキャラクター動画で応援

バーチャルキャラクター動画は上記から見ることができます。

千葉ジェッツとともに淑徳大学も盛り上げます！

2月8日（土）、国内プロバスケットボールリーグ（Bリーグ）「千葉ジェッツふなばし」の試合のハーフタイムにて、表現学科1年生石井健吾さん、境涼さん、東裕太さんが制作したバーチャルキャラクター動画が披露されました。

本学の冠試合とあってシュクトクマが登場し、千葉キャンパスの学生による手話ソングのパフォーマンスで会場を盛り上げ、バルーンアートのプレゼントは大変喜ばれました。そして、表現学科の3人による応援動画が流れると観客はスクリーンに釘付けになりました。それまでの喧騒が一瞬静まりかえり、その後、歓声がわきあがりました。

シュクトクマから発想したキャラクターが千葉ジェッツを応援し、6,000人もの来場者を大いに沸かせました。

3人からは、貴重な機会をいただいたことに感謝しつつ、創作する喜びを改めて感じたとの言葉がありました。

長野県で史料レスキューに取り組みました

地道な作業となりましたが根気強く取り組んでいました

人文学部の学生8名が、2月21（金）～23日（日）に、長野市の文化財レスキューのボランティア活動に従事しました。長野県では、昨年10月の台風にて、甚大な被害がありました。同市では、人的な被害だけではなく、古文書や古写真といった貴重な文化財資料も罹災しています。

当日は、まず被災地域を見学し、被害の実態を確認。その後、復旧活動の一環として、長野市立博物館で、水没した文書を脱水する活動を行いました。長野市の1日も早い復興の一助になるものと期待されます。

教員採用試験合格体験発表会を開催

埼玉 CAMPUS

第1回発表会の様子

2019年12月13日（金）と20日（金）、教員採用選考（小学校教諭）の合格者と受験希望の学生が参加する「採用試験合格体験発表会」が開催されました。

2019年度の発表会は、教員採用試験対策講座を行う教育学部教員・保育士養成支援センターと、小学校教師を目指す学生を中心としたサークル“DOE”（Dream of Education）の共催で行われました。

第1回（12月13日）は、合格者から、1次試験・2次試験前の勉強の仕方のコツや対策講座への参加の仕方などの発表があり、その後、ノートや問題集を囲んで合格者が質問攻めにあう会となりました。

第2回（12月20日）では、合格者から、教育実習での取り組みや対策講座春合宿に参加する上での留意事項等についての発表があり、最後には、合格者が、2次試験で出題される場面指導を実演しました。

4年生の発表者8名と、3年生23名、1年生2名（各回延べ人数）が参加しました。3年生が熱心にメモを取って聞き入る姿があり、採用試験に対する意識の高まりを感じる発表会となりました。

ビジネスプランコンテスト本選を開催（ＬＡ科目）

ビジネスプランコンテストの様子

ビジネスプランコンテスト受賞者

◀詳細はこちらをご覧ください

2019年12月13日（金）、コミュニケーション論（LA科目）において、ビジネスプランコンテストの本選が行われました。プレゼンのテーマは「H.I.S.のグローバルリソースを活用した新しいビジネスモデルを立案せよ」です。予選を勝ち抜いた5チームのみが本選へと出場し、半年間練りに練ったプランをH.I.Sの社員の方々の前で披露しました。

また、今年度よりLA達によってtwitterの運用が始まり、授業の様子や学生インタビューを写真や動画で見ることができます。是非フォローをしていただき、彼らの活躍をリアルタイムでご覧ください！

SHUKUTOKU
Together
231
The Shukutoku University Newsletter
発行日：2020年4月1日
編集：淑徳大学広報誌編集委員会
発行：大学事務局
制作協力：株式会社図書出版

COVER PERSON

表紙の人 No. 231

人文学部 歴史学科 3年 **岩瀬 翔紀**（いわせ しょうき） さん

小学生からの歴史の授業で、日本の動きや人物の活躍を知るのが楽しくて、歴史を好きになりました。その探究心は今も自分の中にあって、疑問に思ったことや気になったことは、文献を調べたりしています。自分で経験したことのないものを、書物やモノを通して見ることができることに、歴史の魅力を感じます。経験を増やすことで、そこから新しい何かが見えてくると常に考えています。視野を広げることで新しいものに出会える、それが私の一種の楽しみになってます。さらに新しいことを見つけ、探究していけるように、成長していきたいです。

東京キャンパスに新棟が完成

4月から多くの学生が利用する学生食堂

落慶式当日の様子

人文学部の定員増にともなって、東京キャンパスに地下1階、地上4階の新棟が完成し、2月19日(水)に落慶式が挙行されました。この式典には、大乗淑徳学園法人本部の清水良潔上人を導師として、長谷川匡俊理事長、磯岡哲也学長をはじめとする約50名が列席しました。

新棟には、1階に約400名を収容可能な学生食堂、地下には演劇スタジオが設置され、全館でWi-Fiが利用できるなど、学びの環境をより向上させてくれるものと期待されます。2020年度新学期から利用が開始される予定です。

淑徳大学の公式アカウント

是非フォローをお願いします。

●ツイッターはこちら

●フェイスブックはこちら

編集後記

2020年度はじめてのTogetherを発行することができました。新入生の皆さんにとっては、最初に手にする淑徳大学の広報誌となります。本学は4キャンパスに6学部が立地しており、その地域も千葉・埼玉・東京と広域にまたがっています。各学部、各キャンパスを架橋する媒体、それがTogetherです。

どの学部に入学しても、淑徳大学の学生が共有しているものがあります。「利他共生」という建学の精神です。「利他共生」、「ともいき」、そして「Together」。いずれの言葉も、その意味するところは、「自己」と「他者」の関係性を問うているのです。それぞれがそれぞれに寄り添う姿勢は、淑徳大学だけではなく、普遍的な価値ももつものでしょう。今年度もこの広報誌が、そうした記事で一杯になることを願っています。　（田中）

「淑徳大学広報誌」に関するご意見、ご感想などのメールをお待ちしております！　reply@soc.shukutoku.ac.jp

千葉キャンパス
総合福祉学部　コミュニティ政策学部　大学院 総合福祉研究科
〒260-8701　千葉県千葉市中央区大巌寺町200
TEL：043-265-7331

埼玉キャンパス
経営学部　教育学部
〒354-8510　埼玉県入間郡三芳町藤久保1150-1
TEL：049-274-1511

千葉第二キャンパス
看護栄養学部　大学院 看護学研究科
〒260-8703　千葉県千葉市中央区仁戸名町673
TEL：043-305-1881

東京キャンパス
人文学部　淑徳大学短期大学部
〒174-0063　東京都板橋区前野町6-36-4
TEL：03-3966-7631